

維新コート 会場内的一部立入規制について

今大会も、中央スタンドの一部立入規制を行います。

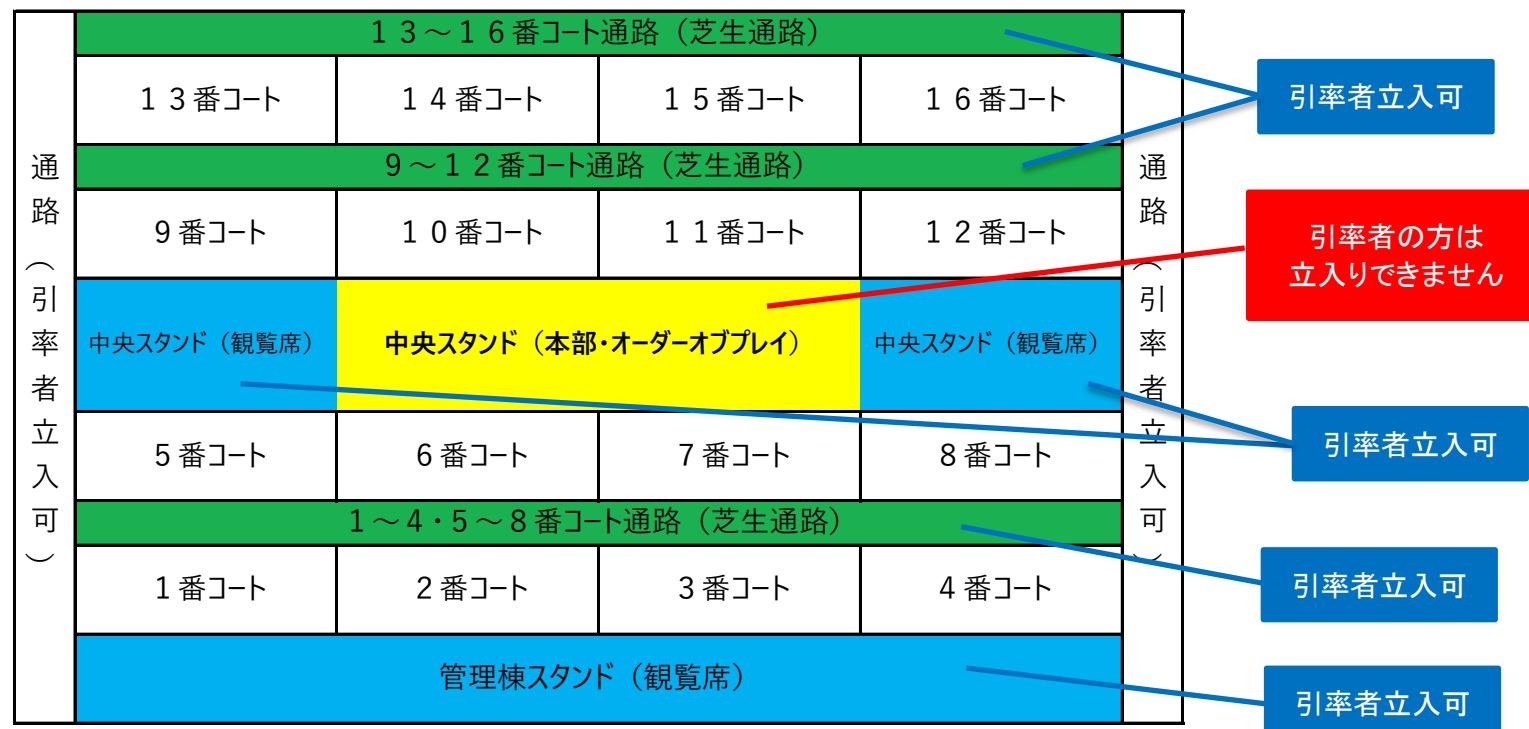
中央スタンド中央（本部・オーダーオブプレイ）への立入りは、出場選手、大会運営スタッフ、大会役員のみとなります。

大会期間中、引率者（保護者、コーチ等）の中央スタンド立入りは、観覧席までとなります。

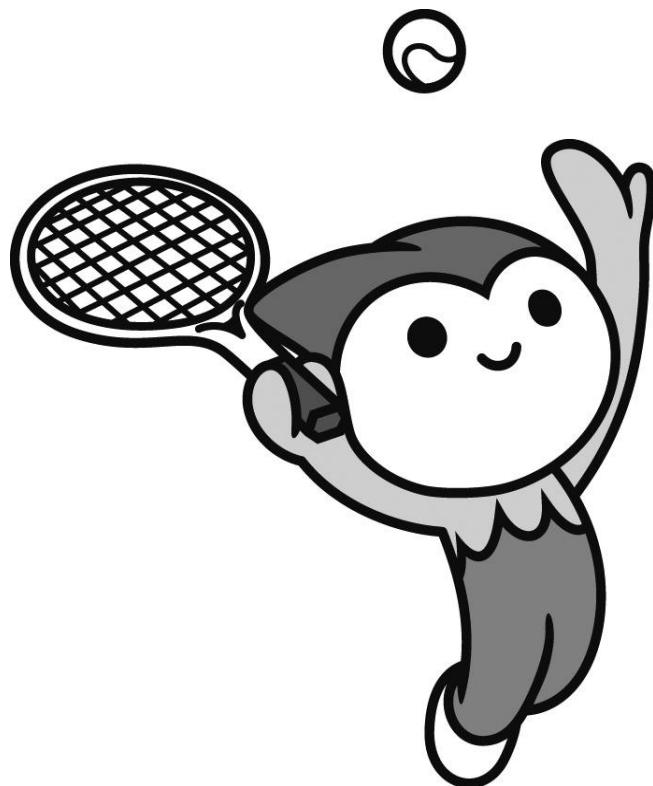
（中央スタンド下のトンネル通路は通用時のみ利用可。ただし、トンネル通路内での待機や観戦はご遠慮ください）

※その他、以下の場所は、通常通り引率者の方も立入り可能です。

管理棟スタンド（1～4番コート側スタンド）、1～16番コート通路（芝生の通路）



2026年
全国選抜ジュニアテニス選手権大会
山口県予選



主 催 山 口 県 テ ニ ス 協 会
主 管 山 口 県 ジ ュ ニ ア 委 員 会
会 期 令 和 8 年 1 月 17 日 (土) ・ 18 日 (日)
会 場 維 新 百 年 記 念 公 園 テ ニ ス 場

大会日程

日時	種 目	試合会場	試合開始
1月17日(土)	U14男子シングルス	維新百年記念公園 テニス場	
	U14女子シングルス		9:00
	U12女子シングルス		
	U12男子シングルス		10:30
1月18日(日)	前日の残り試合	維新百年記念公園 テニス場	前日発表

★ 受付は試合開始予定の30分前までに行ってください。★

大会役員

ディレクター	川武 郷
レフェリー	古屋 伸之
進行	山口県ジュニア委員

諸注意・連絡事項

1. 試合方法	本戦、3位決定戦、5~8位決定戦	8ゲームズプロセット
	コンソレーション(初戦敗者のみ:1回限り)	6ゲーム先取(ノーアド)

※ 今大会はノーレットルールを採用します。

※ 5~8位を本戦で決めます。

※ フィードインコンソレーションは行いません。
初戦敗者同士のコンソレーション(1回限り)を行います。

※ 天候、その他の事情により、試合方法を変更することがあります。

2. 試合前の練習はサービス4本とします。

- 遅刻に対するペナルティーなど、その他のルールはJTAルールを採用します。
- 試合はセルフジャッジです。サーバーはポイントやゲームのコールを相手に聞こえるように大きな声でして下さい。
- 選手は進行板に注意して、前の試合が終わったら直ちにコートに入って試合をして下さい。
- 試合終了後、勝者は速やかにボールと進行板に貼ってある自分のカードを本部に届けて下さい。
- 開会式は行いません。受付は各選手が届けてください。
- 雨天などにより試合の有無が不明な場合でも、定刻には会場に集合して下さい。
- コートの外からアドバイスやジャッジに関する抗議等を一切禁止します。
選手はジュニアらしい態度で試合に臨むこと。
- 体調の悪い場合は無理して試合をせずに勇気を持って棄権して下さい。
- 練習コートは各選手交代で練習して下さい。(8:00~8:15 / 8:15~8:30 / 8:30~8:45)
各コートのシングルスティック、スコアボードを倉庫から出して練習を始めて下さい。

12. ごみは必ず各自で持ち帰ること。

観客のみなさんへ…お願い

- ラインジャッジ等の判定に関して、口出しすることをお控え下さい。
- 好プレーに対しては、敵味方関係なく、惜しみない拍手をお願いします。
- 逆に、いずれのプレイヤーのエラーに対する拍手はご遠慮下さい。

全国選抜ジュニアテニス選手権大会 山口県予選 仮ドロー

U14男子シングルス

維新百年記念公園テニス場
2026.1/17,18



全国選抜ジュニアテニス選手権大会 山口県予選 仮ドロー

U14女子シングルス

維新百年記念公園テニス場
2026.1/17,18



全国選抜ジュニアテニス選手権大会 山口県予選 仮ドロー

U12男子シングルス

維新百年記念公園テニス場

2026.1/17,18

所属団体



全国選抜ジュニアテニス選手権大会 山口県予選 仮ドロー

U12女子シングルス

維新百年記念公園テニス場

2026.1/17,18

所属団体



ジュニアテニス選手皆様へ
一般・ベテランテニス選手の皆様へ
指導者・保護者の皆様へ
大会主催者の皆様へ



公益財団法人日本テニス協会

テニス競技でのセルフジャッジ5原則の順守と推進のお願い



フェアプレイはスポーツの基本です。テニスも例外ではありません。それは、第一に對戦相手をレスペクトしてプレイすることです。

残念ながら、コート内では依然様々なトラブルが絶えません。その大半はポイントの判定に起因するもので、多くのテニス大会で採用されている「チアアンパイアがつかない試合方法（セルフジャッジ）」が適切に行われていないことが背景にあると思われます。

そこで日本テニス協会は、プレイヤーの皆様、保護者、指導者そして大会主催者の皆様に、チアアンパイアがつかない大会で正しいセルフジャッジを目指し、次のセルフジャッジ5原則の徹底とご理解をお願いすることとしました。

セルフジャッジでは、プレイヤーの人格が試されています。



セルフジャッジ5原則

- ① 判定が難しい場合は「グッド」(相手に有利に)!
- ② 「アウト」または「フォールト」はボールとラインの間に、はっきりと空間が見えたとき!
- ③ サーバーはサーブを打つ前、レシーバーに聞こえる声でスコアをアナウンス!
- ④ ジャッジコールは、相手に聞こえる声と、相手に見えるハンドシグナルを使って速やかに!
- ⑤ コートの外の人は、セルフジャッジへの口出しはしない!



保護者の皆様には、目前の試合の勝ち負けに一喜一憂することなく、スポーツmanshipに則ったフェアな試合がおこなわれるよう、お子様への温かいご支援よろしくお願いします。